

令和6年度(令和5年度実施事業分)主要事業評価シート							No.	35-3
PDCA	主要事業名	新美南吉生誕110年記念行事事業	部課名	新美南吉記念館	担当	竹内	内線	26-4888
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 1 - 2 - 2 単位施策： 文化の振興と継承 全体事業期間： 令和 4 年度 ～ 5 年度 全体事業費等： 4,249 千円 会計 一般会計 歳出科目： 09.05.07.10.50							
	事業概要等	事業概要： 令和5年の新美南吉生誕110年を記念して、各種事業を展開する。 ・生誕祭式典、「ごんぎつね」朗読リレー、童話賞審査員作家による対談、 長野ヒデ子絵本原画展、南吉童話ワークショップ、みんなの南吉展、再来館 促進事業、PR用ノベルティ、街頭サインなど						
		事業目的： 記念事業を通じて、市民の南吉に対する親しみを深め、全国に向けて南吉の ふるさと半田をアピールする。						
		事業内容： 小学生24人が4か月間の練習を経て、生誕祭において「ごんぎつね」をリ レー式に朗読する。音源は記念館ビデオシアターの番組に使用する（朗読リ レー）。						
		問題点： 集団による朗読リレーなど、コロナ感染状況に影響を受ける事業がある。 課題等：						
	予算額	主要事業とする理由						
	3,805 千円	節目となる生誕110年を記念する事業で、通常期では実施しない特別企画・事業を寄附 金や積立金を活用して大々的に展開する。						
	財源内訳	得られる成果						
	市費	多様な事業を展開することにより、幅広い層への訴求が可能となり、今後の南吉顕彰への 市民参加に繋がる。						
	国費	目標値や目指すべき状態						
	0 千円	令和3年度 令和4年度 令和5年度 単位						
	県費	朗読リレー発表会の観客数（観客数÷定員）						
	0 千円	実績値 目標値 80 %						
	その他	童話賞講演会の聴講者数（聴講者数÷定員）						
	3,805 千円	実績値 目標値 80 %						
D 得られた成果と実績値	決算額	得られた成果						
	3,133 千円	南吉の詩の一節「さあ、この泉を汲んでくれ」をキャッチコピーに、講演会、朗読会、 生誕祭式典など多彩な事業を実施した。各イベント動員人数やアンケート結果からも、 幅広い世代に改めて新美南吉とその作品に対し、新たな価値や魅力に気づいてもらえた といえる。						
	成果指標							
	令和5年度 単位							
	朗読リレー発表会の観客数（観客数÷定員）							
	実績値 100 %							
	目標値 80 %							
	童話賞講演会の聴講者数（聴講者数÷定員）							
	実績値 122 %							
	目標値 80 %							
C 課題の整理	事業の評価・課題	B						
	誕生日当日にアイプラザ半田で行った記念行事はチケットを完売し、来賓関係者を含め 509人が観覧した。年間を通した記念事業は、新美南吉記念館主催事業の他、庁内他課 が実施したもの、民間団体と共催したもの、市民事業募集に応募されたものなど多岐に わたった。PRサポーター募集、名鉄電車吊広告など民間事業者とタイアップしたPRも積 極的に行い、生誕110年をきっかけに新美南吉の知名度を向上させ、市民の南吉に対す る関心を高めることができた。							
A 今後の課題の解決に向けた	今後の事業の方向性	終了						
	生誕110年事業は終了したが、記念館内ビデオシアターでは、令和5年7月の生誕祭で 上演した市内小学生による「ごんぎつね」朗読リレーを聴くことができる。これからも 幅広い世代に南吉顕彰事業への参加を促し、市民の南吉に対する誇りと愛着を醸成す る。							
	観点別評価	必要性		有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト削減 減余地 ある	※手段の変更			
②市民ニーズ 高い		⑤成果向上の余地 ある	⑧受益者負担適正化余地 ない	ない				
③休廃止の影響 小さい		⑥類似事業の有無 ない						

目標項目（予算計上時に作成）

予算見積書で活用

評価項目（決算時に作成）
主要施策の成果報告書で活用